

## 10802化学繊維製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	9	3~4	調節操作を行う為、現地に向けて屋外を歩行中、80℃の熱水が流れるダクト（幅500mm×深さ600mm、水深200mm）の鉄板渡り板から、右横800mmを並行するケーブルダクト上へ上がろうとした。頭上は仮設足場により照明が遮られ、又、懐中電灯を持っていたが点灯していなかったため暗く、ダクト開口部が黒塗りの鉄板に見えたため、そのまま進み熱水ダクトへ足から転落し、足首を火傷した。	21	11	715	500 ~ 999
2	2017	8	10~ 11	製品グループ作業場で、返品されたフィルム残紙が残った鉄芯のフィルムを、架台上でカッターナイフを使用して切っていたとき、誤って左手親指の付け根を切創し、腱を損傷した。	40	8	379	300 ~ 499
3	2017	7	13~14	被災者は、サンプル採取のために、開いた窓に近づいた。左足に体重を掛けた際左足が滑り窓枠に左脇腹を強打し被災した。	51	3	419	100 ~ 299
4	2017	6	15~ 16	工場内にてタフト機の操作作業をしていた。タフト機のフィードロール部の不具合を直そうとしたところ、右手を巻き込まれ、すぐに左手でスイッチを切ったが、右手を負傷した。	26	7	163	1~9
5	2017	6	18~ 19	職場でプラスチックコアをNC研磨機5号機にセット後、表面の塗装面にできた突起部を、運転しながらペーパーで削ろうとしたところ手が滑り、回転していた砥石と製品に右手親指を挟まれ削ってしまった。	29	7	169	100 ~ 299
			11~	浄化センター構内に入った上り坂を、自転車を押して上り切っ				100

6	2017	5	12	た際に平坦な路面でバランスを崩し、自転車ごと転倒し、路面で右後頭部を打った。	57	2	239	～ 299
7	2017	3	17~18	8インチコアの磨き作業のため製品を機械にセットする際、テールセンターと製品の間で右手親指が挟まり、親指端先を切断した。テールセンターは油圧動作で前進し製品をセットするもので、その際に製品とセンターがずれていたため右手で持ち上げてセットしようとしたところ、誤って親指を挟んでしまった。	25	8	169	100 ～ 299
8	2017	2	14~15	樹脂用難燃剤製造工程の1階にてストレーナーの清掃作業を実施した後、ストレーナーの蓋を閉めるため締め込みハンドルの中に空のパイプを差し込み自分方向に力を加えたところパイプが突然抜け、後方に尻もちをついた。	54	19	364	500 ～ 999
9	2017	1	4~5	夜勤の休憩時間、駐車場より戻ろうとした際、前日より路面が凍結していたが、放射冷却により更に凍結し、滑り易い状態となっていた。また、照明があるものの夜間で暗く、凍結状況の確認が困難等の条件が重なった為、足を滑らせ、仰向けに転倒し、右後頭部を凍結路面に強打し、クモ膜下出血を負った。	54	2	719	100 ～ 299
10	2016	12	18~ 19	帰宅時、生産課玄関で靴を履く際に、歩きながら靴を履こうとしてバランスを崩し、右手で体を支えようとして靴箱に右手をぶつけ受傷した。	38	2	417	500 ～ 999
11	2016	9	10~ 11	土嚢をパレットへ移動作業中、土のうの止め紐が右手人差し指に引っかかり、土のうとパレットの間に右手第2指を挟む。	48	7	611	100 ～ 299
12	2016	5	11~ 12	工場梱包工程自動梱包機にて1人作業での梱包機運転作業中、自動梱包機水平結束機設備の異常対応中に水平結束機ヘッド台の下にいたところ、被災者の胸部が下降したヘッド台と床面の間に挟まれ、圧迫された。	22	7	169	100 ～ 299
				製品の袋破れを発見し、自動運搬装置内に進入し、製品を抱え				

13	2016	3	0～1	上げて、運び出そうとした時、左足首が製品パレットと検査センサー間に挟まれ、足首が抜けずに体勢を崩し、左ひざをひねり転倒した。	40	7	229	50～ 99
14	2016	1	16～ 17	被災者は、作業者と1～4炉へ1本の導糸を通す共同作業を実施。4炉に導糸を通し始めた所で、被災者は乾燥機内の作業員から導糸を受け取るため、炉外の乾燥機出口側で待機。被災者は、待機の間、受け取った導糸をローラーに掛けるシミュレーション中に、プレスローラーへ右手を伸ばした所、不意に軍手が巻き込まれ、右示指と右中指が挟まれ被災した。	38	7	163	50～ 99
15	2015	11	18～ 19	グレード切替え前の製品タンク底バラフライ弁周辺の清掃作業中、被災者は、弁周辺の異物の有無を左手で触れる方法で確認していたところ、もう一人が手伝う目的で弁開閉スイッチを合図不十分なまま操作した為、被災者の指がバラフライ弁に挟まれた。	42	7	169	100 ～ 299
16	2015	7	8～9	撚り機で、ナイロン糸の合糸ボビン巻のボビン替の為、糸を切ってボビン交換していると、切った端糸が回転シャフトに絡まってしまったので、それをカッターナイフで除去しようとしたが、取れそうで取れなかった為、糸を手で持ってカッターナイフで切ろうとした所、糸が右手中指に絡まり負傷した。	40	7	169	10～ 29
17	2015	2	5～6	排水放流口で電動堰（せき）の開放作業をしようとしていたとき、一時的に取りつけたままの手動ハンドルが他の作業員により電動堰を動かしたため、駆動軸と一緒に回転し、ハンドルの柄が被災者左手甲部に当たった。	29	6	391	300 ～ 499
18	2015	1	17～ 18	工場内で原料、薬剤、顔料等を機械を使用し混ぜ合わせる作業中、防塵マスク及び防塵メガネを着用せず作業したため、両目に異物が混入し負傷した。	53	12	514	10～ 29
				不織物工場において、職場巡回中、ホッパーの原料かき落とし部に綿が引っ掛かっており、それを除去しようとホッパーの稼				

19	2014	12	20～ 21	働は止めた。（機械連結のガーネットは稼働中）ホッパーを止めた上、ガーネットマシンの安全カバーを開け、脚場に入った所、バランスを崩し左足踵部が回転しているガーネットマシンのローラーとテーカインの間に巻き込まれて受傷した。	24	7	169	100 ～ 299
20	2014	11	13～ 14	浴室の掃除中に壁に立て掛けておいたデッキブラシが倒れてきたため、足をとられて転倒した。その際、デッキブラシと床面に左膝を打った。	60	2	379	100 ～ 299
21	2014	7	10～ 11	宅配水サーバーを設置後、13kg入り水ボトル1本をサーバーに装填、その後残りのボトルを運び、最後の2本を両手に1本ずつ持って床面より持ち上げた際、腰に異常を感じ動けなくなった。	32	19	611	100 ～ 299
22	2014	5	10～ 11	プラスチック製造装置の外れたチェーンをギアにかけ直そうとモーターを回転させたまま右手を入れてしまい、軍手がギアとチェーンに挟まれ、負傷した。	21	7	121	30～ 49
23	2014	4	21～ 22	合成繊維を巻き取り機械で、ローラーに巻き付けた糸を除去しようとして、停止スイッチを押して作業をする際に、完全に停止する前に右手をローラーに出し、ローラーに巻き付いた糸で右手中指を巻き込み、切断した。	29	7	163	100 ～ 299
24	2014	3	10～ 11	工場敷地内道路と作業場との間に敷かれた段差抑制のための鉄板のズレを直して定位置に戻そうと、リーチ式リフトを使用したところ、動かなくなった。リーチ式リフトを4輪リフトの爪部で押したが動かなかったため、4輪リフトを降りてリーチ式リフトの後部に近づいたところ、ハンドブレーキをかけ忘れた4輪リフトが動き出し4輪リフトのマストとリーチ式リフトの後部に左足を挟まれた。	63	7	222	30～ 49
25	2013	11	11～ 12	溶解釜にナイロン屑投入中、チップ屑(25kg紙袋)500kgを投入した際、腰を痛めた。	44	19	611	500 ～

									999
26	2013	11	10～ 11	通路を建屋の外へ出るため早足で歩いた際、足を捻った。	32	2	417	300 ～ 499	
27	2013	10	20～ 21	機械運転中、コンベア下の綿屑を確認した際、ローラーに綿屑が付着していた為、機械を停止せずローラーに手を当てたところ、コンベアとローラーの間に腕を巻き込まれた。	32	7	224	300 ～ 499	
28	2013	10	10～ 11	糸の玉上げ作業中、作業場の中央を走っている糸に当たらないよう糸の下をくぐり、周辺の確認をせず頭を上げたところ、ワインダー(糸を巻き取る機械)に頭を強打した。	42	3	169	10～ 29	
29	2013	9	9～ 10	アローカット機(段ボールシートを型で抜く機械)で作業中、出始めのシートの切れ具合等を確認をしようとした際、駆動側からバイブレーションコンベアーの出口でシートを手で取ろうとしたところ、コンベアーと下側面のシート揃え板との間に手指を挟んだ。	59	7	163	50～ 99	
30	2013	8	9～ 10	伸張機送りロールにて、紡糸機から引き取った孫糸(6000ホール/鍾×3鍾分)を伸張機ロール(5本)に掛け、送りロール(振り落としロール)に供給した際、手を巻き込まれ、負傷した。	55	7	169	100 ～ 299	
31	2013	6	17～ 18	フィルムロール(約580kg)をホイストを使用して台車に積み替える作業中、つり荷のバランスが崩れ、ホイストチェーンとフィルムロールの木製宙吊り板(厚さ3cm)との間に指が挟まれた。	43	7	211	500 ～ 999	
32	2013	2	23～ 24	駐車場の閉鎖作業中、正門詰め所へ戻る際、分離用チェーンに足を引っ掛け、転倒。膝を地面に打ち、膝蓋骨を骨折した。	41	2	419	300 ～ 499	
33	2013	1	10～	工程内の通路で、作業に必要な備品を取りに置き場へ行こうと歩いていた際、床面の滑り止め塗装部分とコンクリート部分の	53	2	416	300 ～	

			11	境目付近で、足がつまづき、左前方に傾き、側体部を床面に打ちつけた。				499
34	2012	8	19~ 20	中空系束の水抜き作業場にて、中空系束が入ったコンテナを抱え、中空系束水抜きセット台にコンテナをセットしようと腰を屈めた際、腰を負傷した。	61	19	611	100 ~ 299
35	2012	7	13~ 14	20kg程度の荷物を持ち上げたりする軽作業中、腰痛を感じた。	36	19	611	50~ 99
36	2012	7	1~2	試作のため、設設備のパトロール中、フィルターを点検し、しゃがんだ姿勢から立上がろうとした際、咄嗟にスクリーフィーダーの回転軸をつかんだため、ゴム手袋ごと巻込まれ、手を負傷した。	28	7	169	不明
37	2012	7	5~6	取付金具のボルトが緩み、トラバスが止まってしまったため、ボルトを締めようとしたところ、ウエストローラーを運転停止させることを忘れていたため、動きだし、取付金具と本体シャーシの間に指を挟み、負傷した。	43	7	169	10~ 29
38	2012	5	10~ 11	検反機の間隙に離型紙をテープで貼り付けた後、検反台に手をつき、脱いだ靴の上に降りようとしたところ、靴の上で足が捻ったかたちで小指側から着地し、第5中足骨を骨折した。	50	3	417	不明
39	2012	5	12~ 13	タイミングベルトが外れかけたため、元に戻そうとした際、滑車とベルトの間に小指を挟み、巻き込んだ。	62	7	169	10~ 29
40	2012	5	16~ 17	原糸台車の入れ替えの為、台車移動作業をしていた際、同僚が台車後方から移動の援助をした。被災者が台車を停止させようとした際、足の踵が台車にはまったが、同僚は台車を押し続けた為、台車の圧力を受け、足が逆方向に曲がり、骨折した。	23	7	362	100 ~ 299
41	2012	3	11~ 12	風よけのビニールカーテンの棒に足を取られ、躓き、コンクリートの床下に胸から激突し、強打した。	56	2	416	10~ 29
			16~	工場内で紙ロールを準備する際、二段積の紙ロールを引っ張り				

42	2012	2	17	出そうとした為、上段から滑り落ち、紙ロールが足首に落下した。	32	4	611	1～9
43	2012	1	13～ 14	ゴムローラーに糸の巻き付きが発生した為、設備を停止、巻き付き糸を切断後ローラーを回転させながら切断糸端を手で持ち、取り除こうとした際、手がローラー間に挟まれ、負傷した。尚、本来なら切断糸の前端（ローラーから外れる側）を持ち作業するが、誤って切断糸の後端（ローラーを入れる側）を持ち作業したことにより被災した。	45	7	163	10～ 29
44	2012	1	17～ 18	作業者が製品を積載したスタンドを移動台車からフローベア台車に移載しようとしたが、スタンドの角がフローベア台車の一番目のローラーに当たりうまく積載できなかった。そのためスタンドを移動台車に戻そうとしたが、スタンドの重量が重く移動台車がずれ始めたため、一担スタンドを床におろそうと落下させたところ、スタンドが後方に倒れ、たまたま通行していた被災者の足に乗り、下敷きとなった。	30	5	362	300 ～ 499
45	2011	12	16～ 17	製品梱包中梱包機ワゴンから製品綿がはみだしたので、その部分の中に入れるため、高さ1.3mの開閉ドアのフチに上り落綿カバーの吊りアングルに手を掛けて作業をしていたらアングルが固定されていなかったのでアングルが外れて転落し左足を骨折した。	63	1	169	50～ 99
46	2011	12	11～ 12	ポリマー（樹脂の塊）ブロックを大ハンマーで、小さな塊になるように粉碎作業をしていた際、粉碎された破片が左眼に当たった。	41	4	364	50～ 99
47	2011	8	11～ 12	モノフィラメントの生産設備で、生産品の銘柄変更作業中、制御盤を操作していて振り向いた際、床面で左足が滑り、クエンチングバス（80°）に左足が腰まで入り火傷した。	22	11	519	500 ～ 999
48	2011	4	15～ 16	出向先のA（A工場）内において、半自動機に仕掛品を挿入作業中に誤って左手中指を入れてしまい挟まれ骨折した。	40	7	169	10～ 29

49	2011	4	5~6	原料投入作業で設備の蓋を開ける際、腰に電気が走る様な痛みがあった。	26	19	391	50~ 99
50	2011	4	14~ 15	樹脂延伸テープ製造装置、4号機において、第一ローラーから出てきたヤーンを第二ローラーに通して、延伸させる作業で右手を第二ローラーに挟んでしまい親指を骨折した。	64	7	169	10~ 29
51	2011	3	15~ 16	断熱材製造ラインにおいてリコースの製品を粉砕する機械で通常は鍵がかかっていて開けることが出来ない場所であるが、メンテナンスを行った際に鍵の外し忘れが生じていた。そのままラインを稼働している時に被災者がそれに気づきメンテナンス不備と自己判断し、主任のみの取り扱いで稼働中は鍵がかかっているが繊維の除去をしていなかった為、1分程停止中に手を入れ焦って除去しようとした際に時間を誤り右手甲と接触し、裂傷を負った。	35	7	162	30~ 49
52	2011	3	10~ 11	被災者は、入社時検診のため、他2名の採用者と会社の社用車（ライトバン）に乗って事業所近くの病院へ行くところだった。雨が降っていたこともあり、急いで乗り込もうと車の左側面にある昇降口に向って走り、ステップを勢いよく踏んで車内へ入ろうとした時、車の上部にあるひさし部分に頭を激しくぶつけ、その弾みで障害部分の頸椎を損傷した。	39	3	231	300 ~ 499
53	2011	2	13~ 14	紡糸スタート作業を行っていた被災者はタンデムローラー（絞りローラー）の直前にあるピンガイドの幅を治具を使用して調整している時に、左手に持っていた治具が誤って走行中（47m/分）のトウに触れて、左手がローラーに巻き込まれ、左手人差し指を損傷した。	19	7	169	100 ~ 299
54	2011	1	16~ 17	被災者は2階休憩室の掃除が終わり、1階の湯沸室に戻るため中央階段を降りていた。階段の中段に差し掛かったところで、階段の滑り止めに右足のつま先が引っ掛り、つんのめる体形で転倒し階段を数段落ちた。その際、体を庇うため、とっさに出	53	2	413	100 ~ 299



				した右手の肘を階段で打撲した。				
55	2011	1	9～ 10	工場内1階に設置されている紡糸機械の握縮機にて、最終ロールに糸が巻きつき処理作業を行おうとした時に左手親指に糸が引っ掛かり捲きこまれ左手親指の関節より切断した。通常はロールの回転を止め確認してから処理を行なうのが作業手順ではあるが、確認をせずに処理作業をしたために事故が発生した。	28	7	169	30～ 49
56	2010	12	23～ 0	紡糸室1階にて、1号機の糸切れ再巻き付け作業を行っていた。2階から落した糸をエアサッカーにて吸引中にバランスを崩し、左腕を伸ばしたところ、回転体に指先が接触し、左指先より回転体にひき込まれ被災した。	24	7	163	100 ～ 299
57	2010	10	14～ 15	HFC性三部の堅型タンク上部のマンホール内面の修理が終わったので、その部分の確認のためタンク上部に設置した吊り足場上に乗った。修理部の詳細な説明を受けるため、説明者が足場に乘る場所を確保するために移動した時吊り足場のバランスが崩れ、タンク底部まで落下し、左第9・10及び11肋骨骨折、左大腿骨転子部挫創他の被災をした。(吊り足場からタンク底まで約3.8m)	45	1	411	30～ 49
58	2010	10	13～ 14	工場北東部の産業物置場で、フォークリフトでリフトアップした綱パレットの廃材をコンテナへ移す作業中、コンテナのへりに乗って廃材をかき出す為、綱パレットに手を掛けたとき、綱パレットのバランスが崩れ、綱パレットと当人共にコンテナ内に転落し、コンテナのアオリで胸を打撲した。	57	1	611	100 ～ 299
59	2010	9	9～ 10	社外客先の庭で庭植木剪定作業中、脚立を準備し数段昇った時、バランスを崩し落下した。作業員が気づき、救急車を手配。救急車にてA病院へ搬送、そのまま入院となる。	68	1	371	100 ～ 299
				A産業構内で原料（センイ）カット工場において、終業掃除時に発生したものである。被災者はフィードロール（原料カット				



66	2009	12	9～ 10	工場に設置された、シート状の綿を搬送するカードコンベア、傾斜コンベアにおいて、停止中の傾斜コンベアの軸に巻き付いた綿を除去しようと、右手を出した時、近接のカードコンベアが稼働していたため、カードコンベアと傾斜コンベアの間（35mm）に右上腕を挟まれ負傷した。	19	7	224	50～ 99
67	2009	10	12～ 13	工場内のプラスチックシート製造装置でシートの巻き替えをしている時に、巻き取りロールにシートを巻きつけた直後、シートのシワを直そうとシートに手を押さえ、巻き取りロールとシートの上に右手を巻き込まれ骨折した。	42	7	163	30～ 49
68	2009	5	2～3	事業所内の出荷場において、被災者がポリエチレン袋梱包品の運搬の為、リーチリフトの運転台に梱包品を置き運転走行中、運転操作を誤り、出荷場に設置されている物品庫に衝突した。その際、物品庫で足を打ちつけ、膝を負傷した。	38	3	222	50～ 99
69	2009	2	13～ 14	ラテックスタンクに付随する排水ピットの清掃のため、重量がある上部のグレーチング（1600x30x75mm、57kg）を外す作業を、ひとりで行おうとして持ち上げた際、グレーチング後方端部が支持部から外れ、ピット内に落ち、グレーチングの重量を支え切れず、尻餅をつき、グレーチングの重量が身体にかかり骨折した。この作業は、重量があるため複数の作業員で行うことになっていた、複数者作業の指示については伝えていなかった。	36	2	521	1000 ～ 9999
70	2009	1	11～ 12	店舗敷地内に設置している売場用温室の屋根部分のビニール張替え工事中、アルミ製はしご（高さ4.07、幅0.4、0.07m）を伝って降りようとして、はしごに横から1歩掛けた時にバランスを崩し、高さ約2.6mから舗装面に落ち、腰を骨折、両手を損傷した。はしごの、支える部分が滑りやすい亜鉛メッキ鋼管材だった。	59	1	371	100 ～ 299
				空鉄芯用架台に載せてあった原反が架台から落ちていた為、ホ				

71	2008	12	1~2	イストで吊上げ架台に載せようとしたところ、置いてあった原反の片側が架台から落ちて右足に当り、反動で右足が後ろに押されて、架台の下に置いてあった空鉄芯に右足を強打した。	50	4	379	300 ~ 499
72	2008	4	11~ 12	熱湯に布を浸して製品にゴミ付着防止する作業を行っていた。熱湯の入った槽に布を浸そうとゴム手袋をした両手で下に押し込んだところ、ゴム手袋の口（腕と手袋の隙間）から熱湯が入り込み、左手を負傷。	23	11	391	50~ 99
73	2008	2	8~9	積荷を降ろそうとトラックのアオリ上（高さ2.1m、厚さ4cm）に上がり、下に準備しておいたトンバックに袋を入れようと、積上げられた袋の最上段を引き出したところ、隣の列の最上段の袋も一緒にずれたため、体のバランスを崩して、本人の意志により地面に飛び降りた。その際、衝撃で右足踵を被災した。	54	3	221	100 ~ 299
74	2007	12	19~ 20	工場屋外にて空ドラム（200L、10kg程度）を段積み中、3段目の空ドラムが落下し、足に当たり負傷した。	43	5	611	50~ 99
75	2007	11	8~9	被災者はパソコン用のプリンター（W240×D310×H180：重量6.8kg）を2工場2階の工務室より運び出すため、両手でプリンターを抱え階段を下りようとした。階段を降りる直前に重心を足へ移動した時に、足の力が抜け（カクツとなり）、バランスを崩し階段最上部から15段程度（約3m）転落し、足を負傷した。	30	1	413	100 ~ 299
76	2007	11	13~ 14	レーヨン紡糸機のカッターで、トウ処理の作業中、足にトウが巻き付き、トウガイドまで足を引っ張られた。トウガイドで足が縛られた状態になり、足指を負傷した。	48	7	169	100 ~ 299
77	2007	10	17~ 18	工場内で近進機（原材料の切工機）の刃を調整する際、誤って刃に左手が接触し、手を負傷した。	31	8	169	1~9
				ポリエステルフィルムのスリット工程において、被災者はフィルムスリッターロール掃除および、運搬車への積み込み作業の				

78	2007	7	18～ 19	応援に就いた。一連の応援作業終了後、被災者は巻き取り工程監視の応援に就こうとしたが、思い直して事務所に戻るため体を反転したところ、めまいがし、近くにあったフィルムロールの移動車に倒れかかった。その際に「巻き込まれ防止板」に指に全体重をかける状態で手をつき負傷した。	32	8	163	1000 ～ 9999
79	2007	7	23～ 24	床上高さ1.6mのプラント上で、グリセリン槽の蓋を外しながら、横に移動した時、足場がまだあると思い、足を踏み外して転落した。その際、手を負傷した。	29	1	416	300 ～ 499
80	2007	7	8～9	原液機パルプフィーダーでパルプの下部に、クレーンのフックを掛けてパルプの位置をずらそうとした時に、フックの掛かりが浅く、フックが外れて指をパルプの下に挟んで負傷した。	36	7	221	500 ～ 999
81	2007	6	13～ 14	金糸工場で製品（金銀糸）に傷が付いていたので機械を止め、ガイドロールの清掃をするため機械に登り清掃を終えた後、機械から降りようと振り向いた際、足場が悪く、足を滑らせ機械上部（高さ約2m）から落ち、機械の一部で頭部、腹を打ち負傷した。	62	1	163	10～ 29
82	2007	6	19～ 20	塗工工場内の塗工機のコーター部ヘッドの清掃作業を終え、階段を下りる際に、階段を踏み外し、バランスを崩した塗工室の壁材に手をつこうとしたが、はずみでC型鋼チャンネル開放部に手が入り抜けなくなり、手を抜いた際、負傷した。	27	8	413	30～ 49
83	2007	3	10～ 11	トイレに行くため、道路端の安全通路上を小走りで急いでいた時、足がもつれ、転倒し、足を通路（アスファルト）で強打し、負傷した。	44	2	417	100 ～ 299
84	2006	11	22～ 23	排水処理場に保管している排水用消泡剤を取りに行く時、排水の配管を越す時に配管を踏み、滑って足を強打した。本来は反対側から倉庫に入ることになっているが、近道をして配管を越す通路を通過してしまった。	28	2	521	10～ 29
				構内倉庫原料昇降口（2階建）において、倉庫1Fにある原料				

85	2006	11	13～ 14	運搬用プラスチック製パレットをホイストクレーンを使用して2Fに運ぶため、パレットを6枚組にて結束し、上昇させたところ（結束は最上部、最下部のみ実施）、ホイストクレーンの操作ミスにより、ホイストのチェーンブロックがブレを起こし、結束をしていないパレットがズレて落下し、体の一部を直撃し負傷した。	64	4	372	100 ～ 299
86	2006	5	13～ 14	自社内より配達に行こうと積み込みの作業をしていた際、荷物を持ったまま段差を下りてバランスを崩し、負傷した。	57	4	611	10～ 29
87	2006	2	3～4	ポリプロピレン繊維製造工場パイレン紡糸工程延伸巻取機にて、自動巻取機に異常が発生（ターレット切れ）し、巻取作業を行ったが巻取機への糸掛けが失敗し、ローラーに糸が巻きついた。再糸掛けのためローラー下ではさみを用いて走行中の糸を切断し、エアースッカードで糸を吸引しようとしたところ、鉋が巻きついた糸にはねられ負傷した。	50	4	169	不明
88	2006	2	1～2	場内排水処理設備で、別系統流入配管の放出口にダクトホースを取付作業中、間欠的に流入してきた排水が隙間から噴出したため、思わず左後方へ飛び移ったがバランスを崩し更に後方へ飛び降り、負傷した。	56	3	415	不明

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。